

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー : エスペラント入門 ILAS Seminar : Introduction to Esperanto			担当者所属 職名・氏名	文学研究科 教授 千田 俊太郎		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	8(8)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	文学部校舎 4階千田研究室(本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	エスペラント / 人工言語 / 計画言語						
【授業の概要・目的】							
<p>「作られた言語」として知られるエスペラントだが、一人の提案により始められた、その奇異な始まり以上のことを知る者は多くはない。言語の理解にはもちろん、語彙や文法を把握することが必要となる。それだけではなく、この授業では文法の「設計」やザメンホフの思想とそれに共鳴した人々の歴史を見るとともに、ある程度の使用者を擁し、今日まで活潑に使用されてきた状況についても総合的に把握し、現象としてのエスペラントが提起する問題について考察を深めることを大きな目標としたい。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ エスペラントの言語的特徴を理解する。 ・ 計画言語をめぐる歴史について把握する。 ・ 言語と人工性の問題について正しく説明する力をつける。 							
【授業計画と内容】							
第1回 ザメンホフとエスペラントの誕生、字上符、強勢、辞書形 第2回 エスペラントの使用1、二重母音、数・格、名詞、形容詞、一致、不定詞 第3回 エスペラントの使用2、人称代名詞、所有形容詞、疑問文、助動詞 第4回 二葉亭四迷とエスペラント、時制、ke節、oni、否定 第5回 オンラインでのエスペラント学習、命令形、副詞、その他 第6回 ヴォラピュク、基数、序数形容詞、複合語、時刻 第7回 第1回世界エスペラント大会、肯定と否定の応答、アルファベット 第8回 エスペラントのライバルたち、前置詞、場所副詞、その他 第9回 プラハ宣言、複合語、派生語、数量副詞、指示詞 第10回 エスペラントとことわざ、翻訳、文化の越境と共通語、受動分詞、能動分詞、その他 第11回 ラウマ宣言、関連詞、関係節 第12回 エスペラントと文芸、言語イメージ、母語話者と、言語の継承、語順 第13回 言語の人工性、対格、関係節と制限用法・非制限用法、程度、再帰 第14回 エスペラントと宗教、音楽、仮定法、韻文 第15回 新村出とエスペラント、言語の「完成」、まとめ							
【履修要件】							
特になし							
----- ILASセミナー : エスペラント入門(2)へ続く -----							

ILASセミナー : エスペラント入門(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点60%
レポート40%

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

配布プリントと授業中の指示に従って予習・復習すること

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]